

## 植木・小島方面の再編について(まとめ)

## 路線図



## 再編の効果

## ○植木方面

山鹿線…直通運行を維持

玉名線…交通センター行きは午前、  
玉名駅行きは午後を中心に直通で運行し、  
その他は植木で幹線・支線化

南関線…植木で幹線・支線

植木線…増便(植木⇄センター間の便数を維持)

## ○小島方面

玉名線…幹線・支線化を行い、玉名駅からは河内亀石まで、  
交通センターからは、小天温泉または  
天水支所で折り返し運行



○区間短縮による定時性の向上

○ダイヤの等間隔運行による利便性の向上

○運行効率化による乗務員の確保

## 持続可能なバス路線網の形成

## 今後の進め方

- ①事業者、熊本県と連携し、運行計画概要を関係自治体へ示しており、継続して協議を進める。
- ②今回の再編は、国の再編特例の適用が限定的であることから、再編実施計画の策定は見送りたい。
- ③今後も、沿線自治体との協議・調整を行い、2019年10月の運行開始を目指す。